

研究課題名：	急性期 M2 閉塞に対する機械的血栓回収術における予後予測因子の検討
所属(診療科等)：	公立昭和病院 脳神経外科
研究責任者(職名)：	吉河学史(部長)
研究期間：	2021年2月18日 ~ 症例報告・学会発表の完了日
研究目的と意義：	中大脳動脈は、4つの部位 (M1、M2、M3、M4,5) に区分される。そのうち、当院における急性期 M2 (島葉動脈群) 閉塞に対する機械的血栓回収術の成績から、その有効性と安全性を評価し、臨床的予後予測因子を検討する。
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2016/1/1-2020/5/31 において急性期 M2 閉塞に対して機械的血栓回収術を行われた患者さん 29 名。 ●利用するカルテ情報 年齢、性別、既往歴、内服歴、神経所見、入院中・治療 3 ヶ月後臨床経過、頭部 CT/MRI、血管造影、カテーテル治療所見 ●研究方法 当院入院中・退院後のデータについて後ろ向きに検討し報告を行う。 ●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：酒井優 (脳神経外科医師) 住所：小平市花小金井 8 丁目 1 番 1 号 電話：042 (461) 0052 (代表) FAX：042 (464) 7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く) 総務課 042 (461) 0052 内線 2247 受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)</p>